



こうきあつ 高気圧ってなあに

まわりよりも気圧が高い

空気の圧力（物をおしつける力）のことを、気圧といいます。空気は、わたしたちの体を、四方八方からおしつけていますが、体が同じ力でおしかえしているので、おしつけられていることを感じません。

天気図で、気圧の等しい地点を結んだ等圧線が、まわりよりも気圧の高い所を、高気圧と

高気圧では、中心に近い所ほど、気圧が高くなっています。風が中心から外側に向かって吹き出していて、その吹き出した空気をおぎなうように、中心付近では、上空から空気が降りてきます。そのため、高気圧の中では雲ができず、晴天になります。

こうきあつ しゅるい 高気圧の種類

高気圧は、でき方によって、温暖高気圧と寒冷高気圧に分けられます。赤道付近の海で太陽の光に激しく照らされ、暖められた空気は上昇（上にのぼる）し、上空で南北に流れ出します。これが、中緯度付近（赤道と北極や南極との中間ぐらいの所）に降りて、背の高い高気圧をつくります。これは、まわりよりも暖かい空気できているので、温暖高気圧と

高緯度地域（北極や南極に近い所）では、下の方の空気が冷やされていて重くなり、下の方に集まって、背の低い高気圧ができています。この高気圧は、まわりよりも冷たい空気できているので、寒冷高気圧と

（監修・村山 貢司）

